

大阪市立 瓜破西小学校



住所 〒547-0025 大阪市平野区瓜破西 2-1-43

連絡先 ☎ 06-6704-0200

☎ 06-6797-5065

校長 水上 紀代美

開校 昭和 49 年

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751738>



教育目標

確かな学力の向上を図り、豊かな心と健やかな体を育成する

重点目標

【目指す子ども像】

- 主体的に学び、考え、ねばり強く取り組む子
- 互いの良さを認め合い、自分と友達を大切にする子
- 健康や体力の向上に努める子

教育方針

- 感動することが子どもたちの感性を豊かにし、憧れが頑張る力を生み出すと考え、文化やスポーツにおいて「本物に触れる機会」や「体験を通して実感を持って学ぶ」ことを重視するとともに、様々な分野のゲストティーチャーを招いた出前授業を多く取り入れています。

今年度も、動物（ヤギやウサギなど）の飼育や田んぼ作り、植樹・緑化・栽培・堆肥作り、ビオトープ活用など、自然豊かな東運動場の特質を最大限に生かした活動を推進しています。

- 基本的生活習慣を大切に、特に、あいさつ（おはよう、こんにちは、さようなら、ありがとう）を重視しています。



運営に関する計画

【中期目標】

- 学校生活は楽しい ⇒ 最も肯定的な回答60%以上
- じぶんからあいさつをしている ⇒ 最も肯定的な回答70%以上
- 点検表どおりのそうじができています ⇒ 最も肯定的な回答68%以上
- こどもはよく本を読んでいる ⇒ 肯定的な回答65%以上
- よく宿題をしている ⇒ 最も肯定的な回答60%以上
- 授業中話し合う活動ができた ⇒ 最も肯定的な回答60%以上
- 教育コミュニティづくりを推進し、地域との新たな取り組みを開発する。
- 学校の中で地域の人とふれあう機会がある ⇒ 肯定的な回答75%以上
- 校内研修が充実している ⇒ 肯定的な回答75%以上



校長先生からのメッセージ

本校は、「地域や社会に開かれた学校」を目指す学校像として、地域と深く関わり、地域を愛し地域の方々から愛される学校を目指しています。また、一人一人の子どものよさや可能性を伸ばし、子どもたちが個性豊かな花を咲かせる「笑顔あふれる花園」の実現を願い、思いやりがあり助け合う仲間集団、わかる・できる喜びがある授業、安心できる学校、楽しいことがある学校で、子どもたちが笑顔で毎日を過ごせるよう教育活動を進めています。

本校には、クローバーやタンポポが生い茂り、果物が実り、ヤギのアトリやウサギなどの動物と触れ合える自然豊かなアトリパークがあります。ビオトープや学習園、様々な生き物や草花を通して四季折々の自然や季節の移ろいを肌身で感じることができ、子どもたちに情緒豊かな心が育っています。



R6年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	平均正答率(%)
49	44	

●結果と概要／

今年度の調査の結果、国語・算数とも平均正答率が全国平均正答率を下回った。全国平均との乖離率は、国語(-18.7%)、算数(-19.4%)と特に算数での乖離率が高い。

平均無解答率は、全国平均無解答率と比べ、国語(-9.8%)、算数(-11.7%)と、算数での無解答率が高い。

●取組の成果と課題／

【国語】

「委員会活動の紹介」「学校の良さの紹介」など、児童の学校生活と密接に関係している内容であった。その点では、問題文を読むことをあきらめず、無解答率も低かった。しかし、必要な情報を結びつけて整理し、記述が問われている問いに対しては、正答率が低く、無解答率も高かった。「オンライン交流会」という場面設定で、双方の対話の誤解の原因や正しい問いかけが課題されていた。児童の日常でもよくあることである。正答率の低さから、「質問の仕方」「相手の発言を理解しようとして聞く力」「問い返し方」など、対話の基本となる言語力を向上させていくことが課題として見られた。漢字等は、熟語として形成されているもので、一つの漢字は正答しているが、もう一方が不正解といった傾向が見られた。

【算数】

課題解決に向けての理由を記述する問いに対しての正答率が低かった。様々な統計資料等を活用して正答を導くことが求められる問題が多く、興味をもって取り組む姿は見られたものの、情報量の多さから、無解答率が高かった。

基礎的・基本的な事項においては、足し算やかけ算において、「何に何を足すのか」「かける数とかけられる数」という思考力、判断力、表現力の土台となる知識や技能の習得に課題が見られた。

R6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	15.75	18.08	34.71	39.20	41.80	9.41	139.33	22.49	51.49
女子	15.75	18.08	37.54	36.54	31.67	9.43	126.08	14.52	52.65

●結果と概要／

体力合計点において、男子・女子とも大阪市平均を上回ることができた。種目別では、「ソフトボール投げ」が男子・女子とも全国、大阪市平均を大きく上回った。一方「立ち幅とび」は、男子・女子とも課題が見られた。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、男子は、肯定的な回答が多く、全国、大阪市の平均よりも10ポイント上回っている。女子は36.0%となり、全国、大阪市平均を下回った。

「1週間の総運動時間」については、「60分未満」と回答した男子は20.0%、女子は12%。「420分以上」が男子55.0%、女子は12%であった。男子は運動量が二極化していることが明らかとなった。

●取組の成果と課題／

【成果】

本校は、広い運動場に恵まれ、休み時間も積極的に外で遊ぶ児童が多い。また、毎週金曜日に地域の方々で行う「ラジオ体操」は、運動習慣のよい動機付けとなり、子どもたちが心身ともに清々しく生活するための原動力となっている。

体育科の学習も学年で取り組むことが多く、複数の教員で指導することができる。そのため、準備や片付けの時間短縮につながり、子どもたちの運動量がしっかりと確保できている。

その他、「かけあし週間」「なわとび週間」など、強化週間を定め、全校児童、地域の方々と一緒に体力づくりに取り組んでいる。

【今後の課題】

20mシャトルランや立ち幅とびが下回っており、持久力や瞬発力に課題のあることが分かった。

子どもたちが、生涯にわたって運動に親しみ、健康体力の保持・増進に励むことができるよう、今後も取組を継続させていく。

学校の特徴



地域に開かれた学校

本校では地域の方にご協力いただきながら、様々な体験活動に取り組んでいます。5年生の田植え・稲刈りなどの自然体験、6年生の間伐材活用制作、3年生の昔遊び体験などの文化・生活体験をしています。

また、毎週金曜日には全校ラジオ体操を地域の方と一緒にしています。今後も「地域や社会に開かれた学校」の実現を目指し、学校だけでなく、地域・家庭と連携しながら子どもたちの成長を支えたいと考えています。



充実した学力保障

「学力向上支援チーム事業」の重点支援校として、学びコラボレーターを中心に、①学習規律の充実、②授業の充実、③学級経営の充実、④大学等連携の充実を図っています。いずれの取組においても、子どもたちの主体的な学びを目指し、子どもの実態に合わせた学力保障を行ってまいります。



瓜西ネイチャークラブ

太鼓クラブと同じく、放課後の自主活動の取り組みとして瓜西ネイチャークラブが平成30年1月に発足しました。3年生がネイチャーキッズとして、4年生以上がネイチャークラブとして活動を行っています。



ます。本校自慢の自然豊かなアトリパークを活動の拠点とし、ヤギのアトリくんのお世話や、野菜の栽培活動、ビオトープの観察など、地域やPTAの方々に協力いただきながら行っています。



太鼓クラブ

放課後の自主活動として、4年生以上の子どもが太鼓クラブの活動をしています。和太鼓の演奏を通して、日本の伝統文化に親しみ、豊かな感性を養うことや、奏法を習得する過程において、根気強さや協調性を育むことを目指して活動を行っています。運動会や地域の行事など、様々な場面で演奏を披露しています。

